

令和3年2月12日（金）

埼玉県立大学地域包括ケア推進セミナー
（地域の社会資源を知ろう（第3回））

埼玉県社協の 地域福祉関連事業について



社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会

地域福祉部 熊井英朗

社会福祉協議会とは

「社会福祉協議会(社協)」は、社会福祉法に定められ、全国の市区町村、都道府県・指定都市、全国の段階に設置された「公共性」、「公益性」の高い民間団体です。

社会福祉法では「地域福祉を推進することを目的とする団体」と規定されています。

【社会福祉協議会の基本理解(全国社会福祉協議会)より】

社会福祉協議会(以下、社協)とは、「地域社会において民間の自主的な福祉活動の中核となり、住民の参加する福祉活動を推進し、保健福祉上の諸問題を地域社会の計画的、協働的努力によって解決しようとする公共性・公益性の高い民間非営利団体で、住民が安心して暮らせる地域コミュニティづくりと地域福祉の推進を使命とする組織」である。

埼玉県社会福祉協議会

埼玉県社会福祉協議会は、県内の公私関係者の参画のもと、地域福祉の推進を目的として設置された非営利の民間組織です。

キャッチフレーズ

つながりをチカラに

【主な事業】

- ①市町村地域における福祉活動の仕組みづくりと、ボランティア等の活動実践者、相談員等の養成
- ②災害ボランティアセンターの設置、運営及び支援
- ③子どもの居場所づくりの支援
- ④生活困窮者の自立支援相談、生活福祉資金の貸付
- ⑤高齢者、障害者の権利擁護、成年後見、認知症の方の預金の出し入れなどの援助
- ⑥福祉人材の確保、研修、就学資金の貸付
- ⑦障害者施設、児童養護施設、社会福祉法人の経営者団体などの事務局の受託

子ども食堂や困りごとを抱える 子どもたちへの支援

1. コロナ禍における緊急的な取組

(1) “緊急”子ども食堂応援カレープロジェクト（4、5月）

子ども食堂や子ども支援に係る団体、企業と協働し、孤立や欠食が心配される子どもたちを対象にレトルトカレーとパックご飯10,000食を提供。

【配付先(受け取り団体)】

- ①埼玉県子ども食堂ネットワーク(55団体)
- ②埼玉フードパントリーネットワーク(17団体)
- ③子ども食堂育成事業実施市町村社協(8社協)
- ④アスポート学習支援教室(22市23町村)



(2)子ども食堂及びフードパントリーへの冷凍庫支援 (5、6月)

コロナ禍において寄付食品が増え、保存に困っている声を子ども食堂、フードパントリーの各ネットワーク団体から伺い、冷凍庫(計20台)を寄贈。



(3) “冬休み”早寝・早起き・朝ごはんプロジェクト（12月）

生活困窮世帯を対象とした学習支援教室を運営する支援団体や市町村社会福祉協議会を通じて、生活困窮家庭の子どもたちへ、手軽に食事ができる切り餅、カップスープなど3,000セットの食材を提供。



2. 企業と連携した支援

(1) 株式会社ヤオコーからの米の支援(9月～)

「食品等の提供・譲渡に関する合意書」を締結。
子ども食堂やフードパントリー等を通じて、食の支援が必要な子育て家庭等を対象に、9月から1年間、毎月100袋の米を無料配付。

【支援実績】

計 5回(9月～1月)

計 111団体へ

計 491袋を配付



(2) 企業と子ども食堂、フードパントリー等運営団体との橋渡し

【主な取組】

- ・セブン-イレブン・ジャパンからさんま缶の寄贈(4月)
- ・キューピー株式会社から米・調味料の寄贈(6月)
- ・第一生命保険株式会社大宮支社さいたま営業オフィスから子どもの衣類(未使用品)の寄贈(8月)



子どもの衣類を届けます
衣類バンク

社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会
埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会

埼玉県内の社会福祉法人が社会貢献の一環として、
子どもの衣類を必要としている世帯へ衣類を届ける
事業を行っています。

誰でも利用できる？

写真は一例です

子どもの衣類を必要としている世帯であれば無料で
ご利用いただけます。
衣類以外にも、靴や食食用エプロン等の雑貨も
あります。
原則、新品・未使用品同等のもの（下着、襪下
は新品・未使用品のみ）になりますので、ぜひご利用
ください。

子どもの衣類を必要としている世帯の皆さま

裏面の連絡先までお電話でご連絡ください。
衣類が必要なお子様の性別やサイズ等お聞かせいただけます。

3. 子ども支援に取り組む団体への財政的支援

(1) 浦和競馬こども基金(助成決定:7月)

浦和競馬組合からの寄付金を財源とし、様々な困難を抱えながら頑張る子どもたちが生きる力を育めるよう、支援に取り組む団体を支援。

【助成実績】 77団体

【主な使途】

- ①子ども食堂での食材や食器・調理器具等の購入
- ②無料学習支援教室での教材の購入
- ③フードパントリーでの保冷庫や台車の購入



(2)こども食堂応援基金(助成決定:10月)

貧困など様々な困難を抱える子どもの未来を応援するため、社会貢献活動等に積極的に取り組む企業等からの寄付金を財源に令和元年に基金を創設。

今年度から助成事業を開始し、県内の「子どもの居場所」の拡充を応援している。

【寄付実績】 総額14,206,999円(1月末現在)

【助成実績】 14団体(新設団体)

【主な使途】

- ①概ね20歳未満の子供達を対象とした居場所づくり事業
- ②フードパントリーに併設された居場所づくり事業
- ③新型コロナウイルス感染症対策備品整備事業



災害ボランティア支援センター運営

(令和元年台風19号災害への対応より)

(1)市町村災害ボランティアセンターの設置・運営協力

【設置数】 県内7市町

【ボランティア活動人数】 7, 213名

【主な支援ニーズ】

- ・家財道具の運び出し(重いものを中心に)
- ・家の中の片付け、掃除、泥出し
- ・ごみ集積所への運び出し(トラック等で)



(2)平時の取組(災害対応力の強化)

- ・市町村社協向け災害時対応研修
- ・災害VC立上げ訓練の支援
- ・団体等との協定締結・支援の仕組みづくり



地域における公益的な取組の推進

生活困窮者や困りごとを抱えた世帯に対し、効果的な支援ができるよう、社会福祉法人相互の連携や協働事業を促進し、地域における公益的な取組を拡大する。

(1) 県内全域 ※埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会

「彩の国あんしんセーフティネット事業」の実施

【会員法人数】 211 法人(1月末現在)

【専用HPアドレス】

<https://safety.fukushi-saitama.or.jp/>

(2) 市町村域

事業に取り組む市町村社協を支援

「市町村域での地域における公益的な取組のすすめ」

市町村域での地域における公益的な取組を実施するポイント等を掲載。以下のホームページからダウンロードできます。

https://www.fukushi-saitama.or.jp/site/community_7.html



生活支援体制整備支援の取組（埼玉県受託事業）

各市町村の介護予防や生活支援の取り組みの充実に向けて、以下の各事業を一体的に実施。

（１）生活支援アドバイザーによる個別支援・集中支援

（２）生活支援コーディネーター養成研修

- ①新任向けの「基礎研修」
- ②スキルアップのための「課題別研修」
- ③コーディネーター・行政担当者を対象とした「合同研修」
- ④先進的な取組を現場から直接学ぶ「視察研修」

（３）ブロック別連絡会議

情報の共有化、コーディネーター・担当者同士のつながりを深める。

改正社会福祉法（令和2年6月）において、新たに「**重層的支援体制整備事業**（包括的支援体制づくり）」が創設された。

社協には**地域づくりの中核、プラットフォーム（連携・協働の場）としての役割**が期待。

Facebook シャキたま生活支援コーディネーター活動紹介

コロナ禍でも各地域の生活支援を維持すべく、自治体や生活支援コーディネーター、協議体等の関係者が協働し、取り組んでいる活動を紹介しています。

ぜひご覧ください！



<https://www.facebook.com/fukushisaitama.syakitamakun.sc/>

全社協 未来の豊かな“つながり”のための全国アクション

新型コロナウイルス下での“つながり”をあきらめない地域福祉・ボランティア活動交流サイト。全国各地の“つながり”のための活動事例が紹介されています。



<https://tunagari-action.jp/?ns>

つながりをチカラに

ご清聴 ありがとうございました

社会福祉法人

埼玉県社会福祉協議会

住所 さいたま市浦和区針ヶ谷
 4-2-65

 彩の国すこやかプラザ内

電話 048-822-1191（代）

